PRESS RELEASE
2019年 2月 15日

中之島 香雪美術館
Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

特別展「明恵の夢と高山寺」

朝日新聞創刊140周年記念

2019年3月21日（木・祝）～5月6日（月・振替休日）

中之島香雪美術館、初の特別展
鳥獣戯画 全４巻が中之島にやって来る！

2018年3月に開館した中之島香雪美術館で、初めての特別展を開催いたします。

京都市の北西にある高山寺の歴史は、鎌倉時代初頭に明恵上人（1173−1232）が後鳥羽院から栂尾の地を与えられた頃にはじまります。現在もその遺徳は寺の隅々まで及んでいます。

本展では、魅力的なエピソードに満ちた「明恵」という人間に迫ります。わけても、語る上で欠かせない「明恵の夢」を切り口にします。明恵が19歳の修行期から58歳の晩年まで自分の見た夢を記した「夢記」は、行数にして2500行を超え、点数にして470点余りという膨大な数が現在まで伝わっています。明恵の「夢記」は、しばしば「夢日記」と称されてきましたが、その位置づけは日記にとどまらず、仏教者としての真摯な修行の一環でした。

当館の所蔵品を収集した村山龍平（1850～1933）の収集品にも「夢記」があります。本展ではその一巻を手がかりに、各所に所蔵される「夢記」とそれに関連する絵画、彫刻作品を通して、明恵にとっての「夢」の意味を探ってみたいと思います。あわせて、朝日新聞文化財団の助成により修理が完成した全4巻の鳥獣戯画も紹介します。

本展ポスター画像

会　　期	2019 年 3 月 21 日（木・祝）～ 5 月 6 日（月・振替休日） 月曜休館（ただし、4 月 29 日、5 月 6 日は開館） ※期間中展示替えがあります。 前期：3月21日(木・祝)～4月14日(日)　後期：4月16日(火)～5月6日(月・振替休日)
開館時間	午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
料　　金	一般 1,300（1,100）円、高大生 800（600）円、小中生 400（200）円 ＊（ ）内は前売り、20 名以上の団体料金 ＊前売り券は 3月20日まで香雪美術館（御影本館）、 中之島香雪美術館、フェスティバルホール・チケットセンター、主要プレイガイド、 コンビニエンスストアで販売。 3月21日から5月6日までは、当日料金で販売します（香雪美術館御影本館を除く）。
会　　場	中之島香雪美術館 大阪市北区中之島 3-2-4　中之島フェスティバルタワー・ウエスト 4 階 TEL 06-6210-3766
主　　催	公益財団法人香雪美術館、高山寺、朝日新聞社
後　　援	大阪市、大阪市教育委員会
協　　力	損害保険ジャパン日本興亜

内容

第1章　明恵という人
第2章　ある日の夢記
第3章　夢のあと－鳥獣戯画に引き継がれる夢
第4章　夢を継ぐもの－村山コレクションへ

みどころ

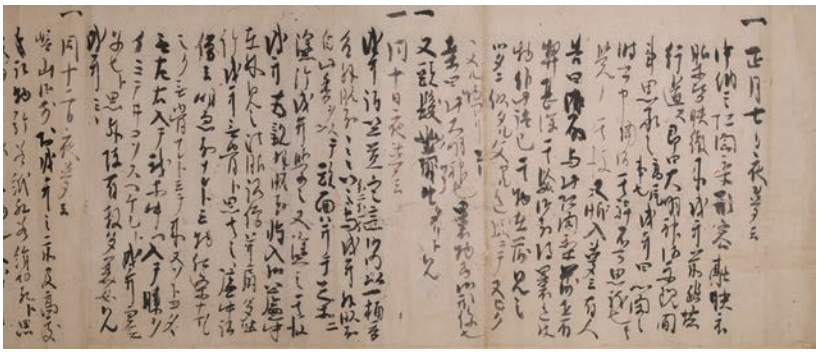
史上初、明恵のみた”夢”の展覧会

高山寺の創立者にして、稀代の夢想家である明恵。「明恵上人像（樹上坐禅像）」（高山寺蔵、写真Ⓐ）は、本展の象徴となる作品です。山中の木々の中、静かに夢想にふける明恵を描いています。明恵は人生の多くの時間を、こうした人間から離れた山中で過ごしました。

明恵は夢の記録「夢記」を残しました。「夢」と一口に言っても、眠っている時にみる夢のほか、修行中の瞑想の中でみた夢想なども含まれます。本展では20代の明恵が書き残した「夢記」（村山コレクション、写真Ⓑ）を中心に、明恵が見た夢を、高山寺などに所蔵される貴重な美術品を通してイメージしてみます。

明恵の夢にしばしば登場するのが、犬です。明恵が飼い愛でていたという黒い小さな犬がイメージの源泉でしょうか。明恵在世中に造立された「子犬」（高山寺蔵、写真Ⓓ）はそれを伝える作品です。犬と同じく夢に多く登場するのが鹿。「神鹿」（高山寺蔵、写真Ⓔ）は、自然な動きの一瞬をとらえた名品です。明恵は春日神を信仰しており、その使いである鹿は身近な親しむべき動物でした。

また、幼くして母と死に分かれた明恵が、母と慕った「仏眼仏母像」（高山寺蔵、写真Ⓒ）も夢に登場し、母のように明恵を胸に抱き慈しみます。愛情や慕情といった人間的感情が、夢の中では率直に現れています。青年明恵が、修行に励む誓いの証として右耳を切り落としたのもこの「仏眼仏母像」の前でした。



「夢記」（鎌倉時代、13世紀）Ⓑ

国宝「明恵上人像（樹上坐禅像）」（鎌倉時代、13世紀）Ⓐ
後期：4月16日～5月6日

国宝「仏眼仏母像」（平安～鎌倉時代、12～13世紀）Ⓒ
後期：4月16日～5月6日

現と夢の二つの人生

明恵の主たる活動圏は、拠点とした高山寺と、故郷である和歌山・湯浅の地、そして華厳宗の中心である奈良・東大寺という極めて限られた範囲でした。だからこそ、明恵の夢想はとどまることを知らず、遠く海を渡り中国へ、仏教の聖地・インドへ、そして時空を超えてほとけの世界へとはばたきました。

夢で釈迦やその弟子たちと邂逅し、「華厳海会善知識曼荼羅」（東大寺蔵、写真F）や「春和夜神像」（高山寺蔵）に描かれる、善財童子や善知識（よき友人のこと）と語らいます。「過去」の存在である仏や聖衆も、明恵にとっては夢中で共に生きている者たちでした。

1232年、明恵は60年の生涯を閉じました。最後に唱えたのは「南無弥勒菩薩」という言葉。弥勒菩薩の像と伝わる「菩薩像（伝弥勒菩薩像）」（高山寺蔵、写真G）は、それを伝える作品です。

重要文化財「菩薩像（伝弥勒菩薩像）」
（鎌倉時代、13世紀）G　後期：4月16日～5月6日

重要文化財「子犬」（鎌倉時代、13世紀）D

重要文化財「神鹿」（鎌倉時代、13世紀）E

重要文化財「華厳海会善知識曼荼羅」（鎌倉時代、13世紀）F
前期：3月21日～4月14日

鳥獣戯画 全4巻を公開

「鳥獣戯画」4巻（高山寺蔵、写真H～J）は、ウサギや蛙などの動物が擬人化され、痛快に動きまわるのが人気の作品です。高山寺に伝来しましたが、制作の状況などは今もってほとんど分かっていません。この絵巻に描かれた場面は、明恵のみる夢のように、突拍子もなく、断片的で、鮮烈な印象を残します。犬や麒麟など明恵の夢に登場する動物や聖獣も描かれており（鳥獣戯画 乙巻、写真I）、その世界観には一脈通ずるものがあります。

国宝 鳥獣戯画 甲巻（平安時代、12世紀）H　前期：3月21日～4月14日

国宝 鳥獣戯画 乙巻（平安時代、12世紀）I　前期：3月21日～4月14日

国宝 鳥獣戯画 丙巻（鎌倉時代、13世紀）J　後期：4月16日～5月6日

明恵と村山コレクション

村山コレクションは村山龍平が収集した美術品の総称です。その中の一点「戯画図巻」（村山コレクション、写真K）には、歴史上の多くの人物が描かれます。明恵は鼓を鳴らしながら、天神の率いる舞楽行列に並びます。鳥獣戯画の主役であるウサギや蛙も随所に登場し、絵巻の中の夢幻を演出しています。このほか、明恵や高山寺と関連する村山コレクションの作品を紹介します。

「戯画図巻」（江戸時代、17～18世紀）K

明恵上人ってどんな人？

明恵は承安３年（１１７３）、紀州在田（現在の和歌山県有田川町）で武士の子として生まれ、８歳の時に母、次いで父を亡くした。翌年、母方の叔父上覚を頼って京都・高雄の神護寺に入山。顕教と密教の教えを学び、16歳で出家した。東大寺、勧修寺などで修行し、学問に励む一方、実践も大切にした。

２３歳から１０年余りは紀州の山中や海に近い山上に庵を構えて転々とした。この間、仏眼仏母像の前で自分の右耳を切り落としたのは、感極まったためとも、仏道に励む覚悟を示したともいわれる。３４歳で後鳥羽院の院宣により高雄に近い栂尾の地を賜り、高山寺を開いた。

若くして東大寺尊勝院の学頭となり、著作を多く記し、当時、仏教界を代表する高僧の1人となった。禅宗の栄西と親しく、栄西が宋から持ち帰った茶の実を贈られて育て、これが日本の茶の起源になったとされる。現在も高山寺に茶畑があり、収穫された茶葉は毎年、春日大社へ贈られている。

承久の乱（１２２１年）以後、敗れた朝廷方の未亡人を収容する善妙寺を建立。北条泰時、西園寺公経ら有力者からの支援を受ける一方、自身は念誦座禅の勤めに徹した。運慶や湛慶ら有名仏師の彫刻や鳥獣戯画などの文物が明恵の周辺に、没後も含め、多く集まってきたのは、明恵を慕う有力者からの財政的支援があったからだという。寛喜４年（１２３２）、数え年６０歳で没。

「夢記」に書かれた夢は？

明恵（1173-1232）が１９歳から５８歳まで、自身の見た夢をつづった夢日記。膨大な量があり、高山寺の所蔵のほか、寺外にも出て各所に所蔵されている。現存する「夢記」は２４歳の時から始まっているが、記録では、１９歳の時からのものがあった、と分かっている。

高山寺が所蔵する１８篇が最も大きな一群。特に第１０篇は５３２行あり、３４枚の紙を綴じた冊子本になっている。明恵は何に書くかはこだわっていなかったらしく、手近な紙を使っていた。表に手紙などを書いたあとの反故紙（今で言う裏紙）に書いたりもしている。

村山コレクションにある「夢記」は１２０４年ごろの正月1カ月間の夢が日付順に書かれている。春日明神の像を手に入れる夢（正月７日）、頭髪が篠竹のように生える夢（同７日）、大河が逆流し、動物や聖獣が逃げ出す夢（同１４日）、地獄絵の屏風の夢（同３０日）などが出てくる。また、地獄絵の悪夢のあとに縁起の良い夢を見て、春日神の加護と解釈する「夢解き」も書かれている。

高山寺の僧の生活規定を書いた明恵直筆の「阿留辺幾夜宇和（あるべきようわ）」によると、睡眠は午前0時から午前４時ごろの４時間程度であったらしい。「夢記」には実際に見た夢のほか、修行中の夢想や幻も記され、朝や夜の座禅中に浮かんだものもあるようだ。

明恵は臨終にあたり、高弟の定真（じょうしん）に夢の記録を焼くように頼んだことも分かっている。定真が言いつけ通りに焼かず、秘匿したことで、現代に伝わることになった。

台風 21 号で高山寺にも大きな被害
復興へのご支援をお願いします

昨年9月4日、近畿地方で猛威を振るった台風21号は、文化財にも大きな被害をもたらしました。

高山寺も例外ではなく、仏像等の宝物や国宝・石水院は無事であったものの、樹齢 100 年以上の大木を含む 200 本以上の倒木、金堂・開山堂・仏足石の損壊、石垣や地盤の崩落等の甚大な被害を受けました。復旧工事は始まっていますが、山間に位置する同寺では、倒木の搬出にヘリコプターが必要となるなど、完全な復旧までには多くの困難と時間が予想されます。

同寺の貴重な文化財を未来に引き継いでいくため、本展会場にも復興支援募金箱を設けます。温かいご協力をお願いいたします。

◆高山寺の復興支援金受付・振込先◆
ゆうちょ銀行
支店 448/ 普通 /口座番号 3250841
栂尾山高山寺（トガノオサンコウサンジ）

特別展「明恵の夢と高山寺」図録

本展全出品作のカラー図版と解説を収録する図録を会場で販売します。
184 ページ、1,800 円（予価、消費税込み）

大人気！鳥獣戯画オリジナルグッズを特設ショップで

ウサギやサル、カエルらがユーモラスな動きを繰り広げる「鳥獣戯画」は、デザインモチーフとしても人気です。

本展では、館内常設ミュージアムショップのほか、鳥獣戯画オリジナルグッズを集めた特設ショップもオープン。楽しく、かわいく、おしゃれな品々を取りそろえます。鑑賞の記念に、ぜひお立ち寄りください。

お問い合わせ
「中之島香雪美術館」広報事務局（オフィス・メイ内）
TEL 06-6204-1500　FAX 06-6204-1505　Email kosetsu@officemay.co.jp
〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町1-3-7-6F「中之島香雪美術館」広報事務局
http://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/

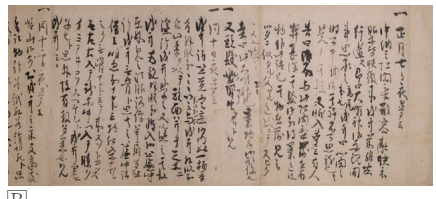
プレス用写真一覧

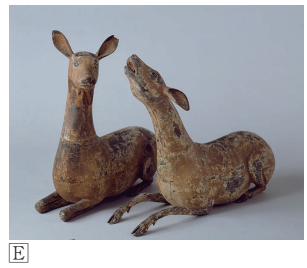
ご希望の画像記号を申込書に明記し、FAXまたはE-mailにてお申込みください。

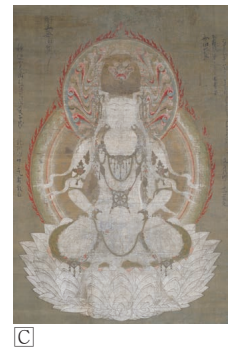
中之島 香雪美術館
Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

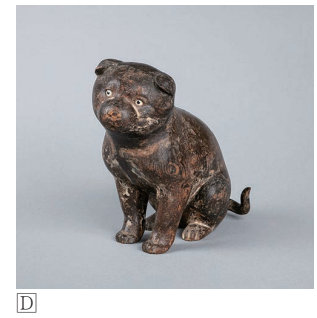
特別展「明恵の夢と高山寺」主な出展品画像

A


B


E


C


D

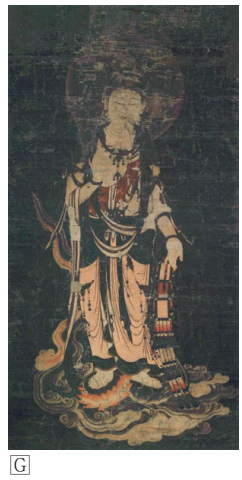
H

I

J

K

F


G

記号	指　定	作　品　名	時　代	所　蔵	展示期間
A	国宝	明恵上人像（樹上坐禅像）	鎌倉時代、13世紀	高山寺	後期：4月16日～5月6日
B		夢記	鎌倉時代、13世紀	村山コレクション	全期間
C	国宝	仏眼仏母像	平安～鎌倉時代、12～13世紀	高山寺	後期：4月16日～5月6日
D	重要文化財	子犬	鎌倉時代、13世紀	高山寺	全期間
E	重要文化財	神鹿	鎌倉時代、13世紀	高山寺	全期間
F	重要文化財	華厳海会善知識曼荼羅	鎌倉時代、13世紀	東大寺	前期：3月21日～4月14日
G	重要文化財	菩薩像（伝弥勒菩薩像）	鎌倉時代、13世紀	高山寺	後期：4月16日～5月6日
H	国宝	鳥獣戯画 甲巻	平安時代、12世紀	高山寺	前期：3月21日～4月14日
I	国宝	鳥獣戯画 乙巻	平安時代、12世紀	高山寺	前期：3月21日～4月14日
J	国宝	鳥獣戯画 丙巻	鎌倉時代、13世紀	高山寺	後期：4月16日～5月6日
K		戯画図巻	江戸時代、17～18世紀	村山コレクション	全期間

※記号欄(A～K)は貸出写真記号
※画像掲載の場合は、指定、作品名、時代、所蔵者、展示期間を必ず明記いただきますようお願いいたします。

プレス用写真一覧

ご希望の画像記号を申込書に明記し、FAXまたはE-mailにてお申込みください。

中之島 香雪美術館
Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

特別展「明恵の夢と高山寺」ポスター　画像

L

中之島香雪美術館　画像

M

N

O

P

記号	名　　称
L	特別展「明恵の夢と高山寺」ポスター
M	エントランス
N	茶室「中之島玄庵」
O	村山龍平記念室
P	外観

※記号欄(L～P)は貸出写真記号

お問い合わせ

「中之島香雪美術館」広報事務局（オフィス・メイ内）

TEL 06-6204-1500　FAX 06-6204-1505　Email kosetsu@officemay.co.jp

〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町1-3-7-6F「中之島香雪美術館」広報事務局

http://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/

PRESS RELEASE
2019年 2月15日

中之島 香雪美術館
Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

特別展「明恵の夢と高山寺」開催記念講演会のお知らせ

特別展「明恵の夢と高山寺」の開催を記念し、2回にわたり講演会を開催します。仏教思想とこころの専門家が、明恵の夢をわかりやすく解き明かす絶好の機会です。講演会内容や応募方法などを貴媒体にてご紹介いただきたく、ご案内申し上げます。

野呂 靖さん

◆講演会1　4月12日(金) 14時00分～15時30分

野呂 靖氏（龍谷大学文学部准教授）
「明恵はなぜ夢を記録したか？」
【お話のポイント:”仏教の夢解釈”と明恵の究めた”華厳思想”】

河合 俊雄さん

◆講演会2　4月18日(木) 14時00分～15時30分

河合 俊雄氏（京都大学こころの未来研究センター長・教授）
「明恵の夢の現代における意味」
【お話のポイント:明恵の夢が”われわれの生き方にもたらす示唆”】

参加料・応募方法

参 加 料：各回500円（展覧会観覧には、別途観覧券が必要です）
場　　所：中之島会館（中之島香雪美術館と同じフロア）
応募締切：3月29日消印有効
応募方法：往復ハガキ(1枚で2名まで応募可能)に、参加希望講演会番号(1または2)、人数、それぞれの住所・氏名・年齢・電話番号を明記。返信ハガキの宛先には代表者の住所氏名を記入して、下記応募先まで。
ハガキ1通で両講演会への応募はできません(両講演会を聴講ご希望の場合は、それぞれの宛先に別のハガキでご応募ください)。
定員250人。応募多数の場合は抽選。
宛　　先：〒530-0005
大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階
中之島香雪美術館
講演会1野呂靖講演会係　または講演会2河合俊雄講演会係
※参加希望の講演会係の宛先を記入してください

お問い合わせ
「中之島香雪美術館」広報事務局(オフィス・メイ内)
TEL 06-6204-1500　FAX 06-6204-1505　Email kosetsu@officemay.co.jp
〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町1-3-7-6F「中之島香雪美術館」広報事務局
http://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/